

# ドキドキ IZUCHU図書館



## 新刊500冊の中から紹介します〈第一弾〉

和泉中学校図書館 第66号 2019年10月発行

### 「おなががすいたハラペコだ。」

椎名誠・著

◆たべものエッセイを書かせたら右に出る者なしのシーナ先生◆  
世界中を旅してきたシーナ先生。世界から日本まで安くておいしいものがこれでもかと登場する。へえ〜！と驚きばかり。北極アザラシカレー・「猿ジャガ・ワニを料理するときには背開きにして、首の後ろには寄生虫がいるのでナマで食べないように」と役立つ情報も（笑）。ひとつでも生きているうちに食べてみた〜い！



### 「14歳」

千原ジュニア・著

◆大人気のお笑い芸人が、自分の14歳の頃のことを描いた自伝的小説◆  
自室に取り付ける鍵を買いに行く場面からこの物語は始まる。扉の両側に2つの鍵を取り付けたあと、引きこもりの生活が始まった。誰ともしゃべらず学校に行かず、運ばれた食事を一人で食べ、部屋の壁一面に絵を描き、テレビ画面にうつるスナアらしを眺めて過ごす毎日。そして家族にイライラを募らせたあげく家の壁を破壊する…そんなジュニアさんの心の中を鮮烈な文章でつづっている本。自室の鍵を取りはずしゴミ箱に捨てる。そして狭い部屋から外に出ていくシーンで物語は幕を閉じる。今、多くの人を笑わせている彼にいったい何が起きたのか？ それを知りたいあなたは、きっと最後まで一気読みすることでしょう。



### 「スポーツ観戦手帳」

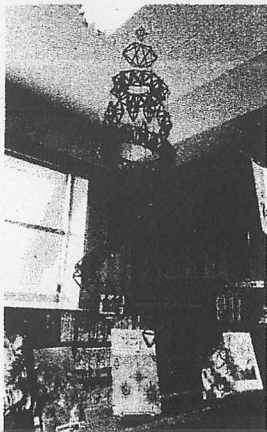
◆ワールドカップもオリンピックも、これ1冊あれば大丈夫◆  
「ラグビーで超盛り上がり中ですが、ときどきハテナと思うのがラグビーのルール。しかしこの本があれば疑問はすっきり解消！60種類のスポーツの簡単なルールとポイントを開説してくれる。来年のオリンピック・パラリンピックに向けて、ますますスポーツ観戦が楽しくなる1冊。



### 「このゴミは収集できません」

マシンガンズ滝沢修・著

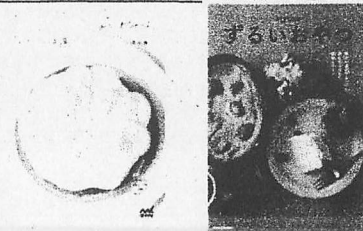
◆お笑い芸人のかたわら、ゴミ清掃員をしている著者が見た世の中の清掃作業員あるあるの裏話や、命がけの面白エピソードを披露している本。芸人さんらしい軽妙な語り口でとても読みやすい。そして楽しみながらゴミ問題を考えるきっかけにもなるので、たくさんの人に読んでもらいたい一冊。日本は一人当たりのゴミの量が第2位のフランスをぶっちぎりでひきはなして世界一なんだった！



北欧の美しいモビール「ヒンメリ」。  
3年生のK君が『幾何学模様の美しいヒンメリ』という本を見て、素晴らしい作品を作ってきてくれました！  
ヒンメリはもともとフィンランドの田園地方に伝わるライ麦の茎を使った伝統装飾品ですが、ストローを使って作れます。エアコンの風を受けてゆったりと回る美しいモビールを是非見に来てください。

### 新しくはいった料理本 おうちで料理にチャレンジしてみよう！

- ◆おうちでおいしい韓国ごはん◆ 韓国ドラマやK-POP人気とともに、韓国料理に親しむ人が増えました。韓国料理はヘルシーで、とうがらしや薬味が体を元気にします。
- ◆ずるいおやつ◆ ずるいと言われるほど、簡単に作れるお菓子のレシピです
- ◆レモンのお菓子◆ レモンの選び方や長持ちさせる方法もっています。



- ◆やさしいバナナのお菓子◆ 黒いはんてんが出て、そのまま食べるには柔らかすぎるようになったバナナがあれば、お菓子作りにはうってつけ！
- ◆イチバン親切なやさしいお菓子の教科書◆ 豊富な手順写真で失敗なし！

# この本、図書委員が選んで購入しました



## 『十角館の殺人』

綾辻行人・著



### ◆奇妙な館の連続殺人 復讐からは逃げられない◆

大学のミステリ研に所属する7人は夏休みを利用し、ある館に泊まる計画を立てた。それは殺された建築家の別荘だった孤島の館。いったんそこに行けば、迎えが来るまで帰れず、本土と連絡も取れない。その館での生活は素晴らしい思い出になる…はずだった。この本の特徴の一つは「犯人が絶対にわからない」ところです。犯人につながる情報が意図的に書かれていないため、話が進み犯人候補が少なくなるにつれてどんだのめりこんでしまいます。登場人物が皆カタカナの名で呼ばれていることも、嵐の無人島という状況をさらに現実離れさせています。 (1-7 藤原さん選定)

※綾辻行人の「館シリーズ」以下も入りました。

黒猫館の殺人/人形館の殺人/迷路館の殺人/時計館の殺人/水車館の殺人

## 『家庭教室』

伊東歌詞太郎・著



### ◆小説家デビューを果たしたシンガーソングライターのデビュー作！◆

家庭教師を目指している大学生の主人公・灰原巧が家庭教師として訪れた家族や子どもの抱える問題に真剣に向き合い、解決していく姿を描いた短編作品集。ひとりひとりの子どもたちにはいろいろな理由があって、勉強に身が入らない。巧はそんな彼らの心を開き、信頼関係をきずくことを最優先に考えます。夕焼けの中に座る表紙のイラストがとても鮮やかで引き込まれます。そして主人公の子どもを想う気持ちがとてもステキでおもしろいです！ (3-1 藤原さん選定)

## 『私は私のままで生きることにした』

キム・スヒョン・著



### ◆そのままの自分を大切に◆

韓国で人気のエッセイ本。寄り道を許してくれない韓国の文化。それは日本とよく似ているのかも。そんな生きづらい世の中を渡っていく時に「自分を殺さず」に済む方法を教えてください。これを読むと自分の人生を楽しもう！と思えます。きっと辛いときに読むと楽になれるでしょう。防弾少年団のジョングクも愛読しています。

(1-1 藤原さん選定)

## 『Fate/strange Fake ①~⑤』

成田良悟・著



### ◆偽りの聖杯戦争◆

あらゆる願いをかなえる願望器「聖杯」を求め、魔術師たちが英霊を呼び出して競い合う争奪戦「聖杯戦争」。米国、スノーフィールドにおいて、次なる戦いが顕現する。魔術協会の調査の結果、これは何者かが聖杯戦争の技術を模倣したものであることがわかり、「偽りの聖杯戦争」が開幕する。様々な陣営が殺し合い、時には協力し、裏切る。

成田先生がつむぎだすカッコいい文章が読み手をワクワクさせます。

一度読みだすと止まらなくなるので要注意です。

(3-3 藤原さん選定)

## 『小説ドラゴン・クエスト III』

久美沙織・著



### ◆人は誰かになれる◆

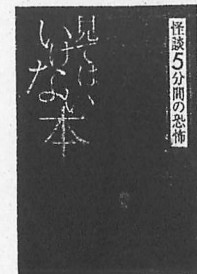
勇者オルテガは魔王を倒すため、妻と息子を置いて旅に出た。しかし、火山の上に差しかけた時、魔王の手下があらわれ、オルテガは火山に落ち死んだ。だが、世界の光はまだ消えてはいない。オルテガの息子アルスが世界を救うため、そして父のかたきをうつため旅に出る。

ゲームが苦手な人や好きな人、ドラクエを知らない人でも楽しめます。そういう人が本を読んでドラクエのことを好きになってくれたら嬉しいです。

(3-6 藤原さん選定)

## 『怪談5分間の恐怖シリーズ』

中村まさみ・著



◆実話系怪談。怪しい話・不思議な話・悲しい話などバラエティに富んでいるこれはシリーズで5冊あります。

(人形の家・病院裏の葬り塚・集合写真・見てはいけない本・またいる…全5冊)

ほくが読んだのは「見てはいけない本」で、35の話がのっています。その中で面白かったのは「ヒールの音」です。字は少し小さいですが、どの話も短くて読みやすいです。

(1年1組 藤原さん選定)